

平成30年3月16日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 公 明 党

代表者氏名 増 崎 俊 宏



会派の（ 調査研究 研修 ） 報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	平成30年 3月 1日（木）～ 平成30年 3月 1日（木） 泊 日
2 調査研究または 研修の場所	東京都渋谷区代々木 2-1-5 J R南新宿ビル4階 プレゼンテーションホール
3 調査研究事項 または研修名	TOTOテクニカルセンター パブリックトイレセミナー 学校トイレセミナー
4 参加者氏名 （ 3名）	増崎 俊宏 田中 千代子 大久保 昌代
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり

※ 自家用車又はレンタカーを使用した場合は、必ず自家用車・レンタカー使用報告書を添付してください。

【概 要】

テーマ 「学校トイレセミナー (小学校・中学校対象)」

～これからの学校トイレに求められること～

① 避難所としての対策

- 1、熊本被災地調査レポート
- 2、内閣府「避難所におけるトイレ確保・ガイドライン」

② 子どもたちの気持ちに寄り添う学校トイレ

- 1、公立小中学校のトイレ 洋式化の状況
- 2、全洋式化、乾式清掃に対する児童の生の声
- 3、自治体の取り組み事例 洋式化100%、温水洗浄便座の設置
- 4、性的マイノリティ (LGBT) 配慮

セミナー内容



学校トイレの現状と課題について確認した。学校は避難所にもなるため、誰もが利用しやすい環境であることが望まれる。

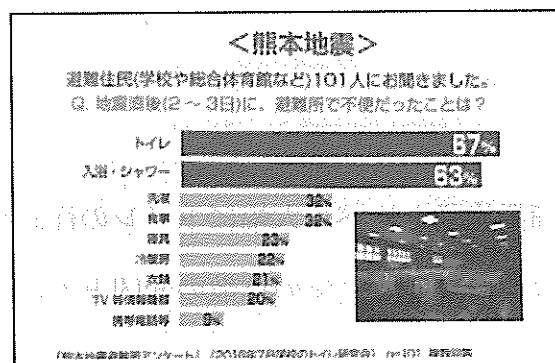
研修資料「学校トイレノウハウブック」

学校のトイレ研究会 発行

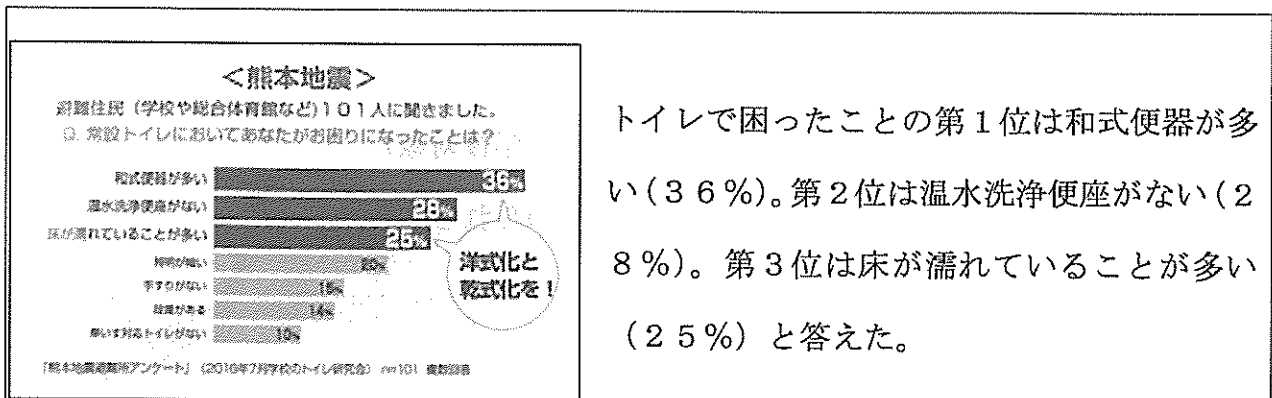
以下、研究会の承諾のもと、紹介いたします。

①避難所としての対策

1、熊本被災地調査レポート (一番困ったことはトイレ)

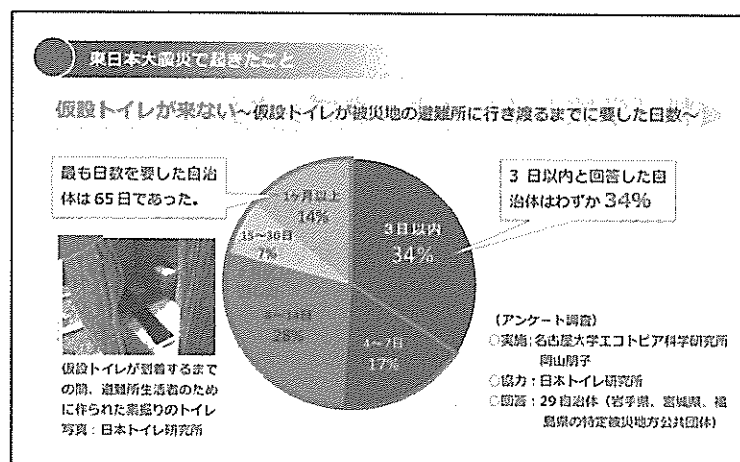


地震直後(2～3日)に、避難所で不便だったことを避難住民(学校や総合体育館など)に聞いたところ、第1位はトイレ(67%)。第2位は入浴・シャワー(63%)。第3位は洗濯、食事(32%)と答えた。



2、内閣府「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」

内閣府は平成28年4月に「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」を発表した。避難所によっては、和式便器のトイレが多く、足腰の弱い高齢者や、車いす使用の身体障がい者にとっては、トイレの使用が極度に困難となる。我慢することによる健康障害の報告もあがっている。過去の震災を通して、トイレの課題は、今まで以上に強い問題意識をもって捉えられている。東日本大震災、熊本地震などの経験をいかして、トイレの環境改善のための具体的な指針が盛り込まれた。



例えば、東日本大震災で起きたこととして、「仮設トイレが来ない」があった。

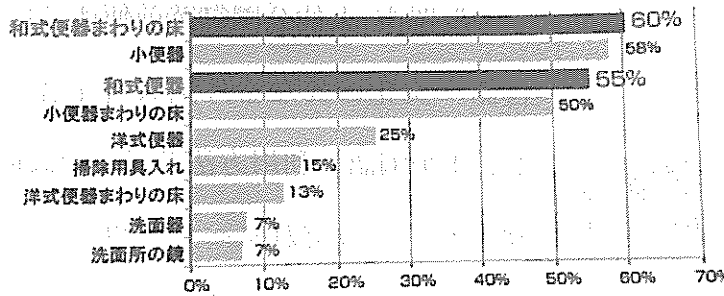
避難所に届くまでに3日以内（34％）、4～7日（17％）、8～14日（28％）、1ヵ月以上は（14％）だった。

②子どもたちの気持ちに寄り添う学校トイレ

1、公立小中学校のトイレ 洋式化の状況

学校のトイレは6割が和式主体。オフィスや商業施設と比べて大幅にトイレの洋式化が遅れている。和式便器は、洋式便器と比べて尿便の飛散や臭気の拡散の元凶ともなっていて、臭くて汚いイメージの温床ともなっている。

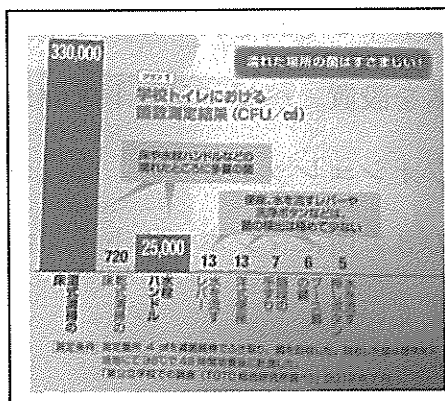
Q トイレ内で汚れがひどい部分はどこですか？



「2015年度全国公立小中学校アンケート調査」より
「和式が多い」、「同じくらい」と回答いただいた学校 n=174 複数回答

トイレ内で汚れがひどい部分
は、洋式便器 25% に対して、
和式便器は 55%。
和式便器回りの床は 60% に
も上がっている。

2、全洋式化、乾式清掃に対する児童の生の声

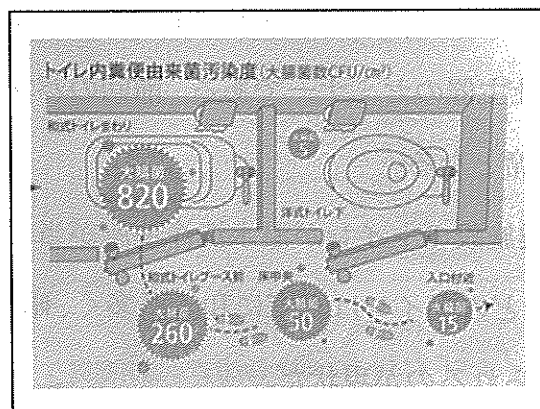


学校トイレにおける菌数測定結果によると、濡れた場
所の菌はすさまじく、

湿式清掃の床では 330,000 CFU/cm²。

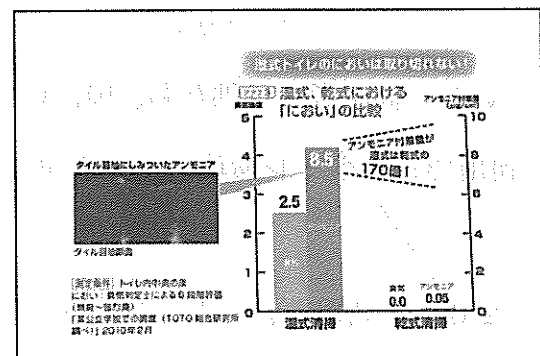
水洗ハンドルは 25,000 CFU/cm²。

一方、乾式清掃の床は、わずか 720 CFU/cm²。



特に和式便器のまわりからは多くの大腸菌も
検出され、それを靴で運んでいると確認され
た。

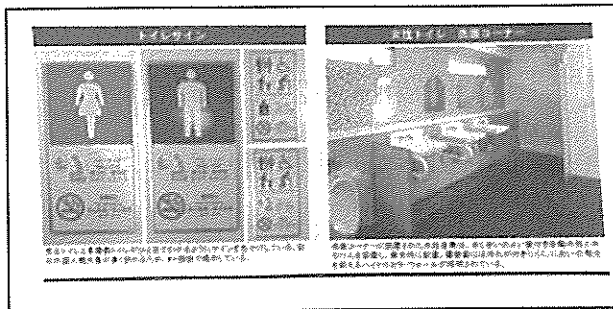
和式便器を使用することは、感染リスク拡大に
つながる。



水を流してキレイになったように感じる湿式清
掃では多くの菌が検出され、タイル目地へのア
ンモニアのしみ込みは乾式の 170 倍になり、
悪臭の元凶となっている。多くの子どもたちが、
トイレの使用において濡れた床に嫌悪感を感じ

ているが、その清掃方法においても約 8 割が湿式より乾式清掃がよいと答えている。

3、自治体の取り組み事例 洋式化100%、温水洗浄便座の設置



大阪堺市 大仙公園御陵前便所の例

言語・文化の異なる外国人観光客に配慮し、4か国語の利用方法サインを設置。男女トイレそれぞれにベビーカーごと入室できるスペースやベビーチェアを設置。



海老名駅西口公衆トイレの例

女性トイレは、棚やフックを備えたパウダーコーナーを設置。男女トイレそれぞれベビーカーごと入れる広いブースを設置。ベビーシートを備えている。すべてにウォシュレットを設置。防災対策としてトイレ内の3カ所にマンホールトイレが設置できるよう備えている。

【感想等】

水まわり住宅総合機器メーカーで、バリアフリーやユニバーサルデザインについての意識は国内企業の中でも高い、TOTO株式会社主催のセミナーである。前回のパブリックトイレセミナーに引き続き、第2回目の出席となる。

家庭のトイレや、デパート、映画館などの商業施設のトイレが温水洗浄便座が当たり前になっている一方で、公立学校や、駅や公園などのトイレは未だに和式が多く、暗く、汚く臭いことから利用をためらう場面も多くみられるのが現状だ。

観光地には外国人も多く訪れるようになったが、和式トイレの使い方がわからなかったり、洗浄ボタンがわかりづらくて問題がおきている。高齢者や子供たち、障がい者、性的マイノリティの方々など誰もが気持ちよく利用できるトイレ環境の整備を早急に整える必要を痛感する。

トイレの洋式化はもちろんのこと、設置後15年20年と利用されるトイレには、節水タイプや、温水便座や、衛生面などにも配慮した最新式を選ぶことが大切ではないだろうか。